

山陰仏社会報

Sō-Sō

[壮創]

第19号

山陰教区仏教壮年会連盟会報・第19号

【編集・発行】山陰教区仏教壮年会連盟事務局
〒690-0002 松江市大正町443-1(本願寺山陰教区内)
電話(0852)21-4747 FAX(0852)27-8351

令和三年度の終わりにあたって

山陰教区仏教壮年会連盟 理事長 眞野明政

コロナウイルス感染症のパンデミックが勃発してはや二年が経過しました。感染を防ぐため、多人数での会食はもちろん、会合や研修会も自粛を余儀なくされました。仏教壮年会も例外ではなく、総会も人数制限で開催し、毎年行われる鳥取、出雲、石見の三地区のブロック研修会も残念ながら出雲地区の研修会だけの開催となりました。周到な準備と充分な感染症対策を施して開催された出雲組の仏壮会員の皆さまに心より感謝いたします。

毎日、全国で新規感染者が五万人前後で推移する中、令和四年三月二十一日をもってまん延防止等重点措置も一斉に解除されました。新規感染者数が五万人前後で常態化する中での措置で、通常の感染症対策を履行すれば従来通りの生活様式に戻っても良いと思われず。

令和四年度の事業計画も感染症対策を確実に履行して実行したいと考えております。

また、令和四年度は、大きな事業として第十三回第四連区仏教壮年会員研修会を山陰教区が受け持ち、十月二十九日、くにびきメッセ国際会議場で一日開催を予定しています。ご講師は、実践運動の中央委員会委員として活躍の江津組 光善寺 波北頭様と、若者と率直な会話を通して布教活動を実践されてい

る臨床心理士でユーチューバーの邑智 東組 高善寺 武田正文様を予定しております。

なお、この研修会では、山陰教区仏教壮年会連盟結成四十周年記念大会を併せて開催いたします。長年にわたり活動を継続維持してこられた単位仏社会に表彰等を考えております。

今から二十年前の結成二十周年記念大会の記録の中に、当時の教務所長が書かれた大会開催の趣意書がありました。それによりますと、仏教壮年会の出発点は門信徒会運動であり、門信徒会運動は、戦後高度経済成長による豊かさの中で、価値観や家族形態が大きく変貌し、都市型の新興宗教が勢いを増し、人々が既成教団を離れていくという状況を背景に昭和三十七年にスタートした運動だそうです。いわば教団、寺院の危機意識から「形ばかりの僧侶、名ばかりの門徒」という自己批判が生まれ「全員伝道、全員聞法」のスローガンのもと再生への取り組みが始まったようです。

山陰教区仏教壮年会連盟結成四十周年記念大会にあたり、先人の方々のご苦勞をしのび、ご尽力に敬意を表しつつ、我々も発足当時の原点に立ち帰り、この困難な世の中で、「世の中安穏なれ、仏法ひろまれ」のもと皆さんと共に確実に行動したいと思っております。

山陰教区仏教壮年会連盟 令和三年度総会及び研修会

鳥取因幡組 会長 小畑 厚

山陰教区仏教壮年会は令和三年六月二十二日(土) 令和三年度総会を開催。

コロナ禍にあつて感染拡大防止を考慮し、少数総会(各組二名)と人数制限をして総勢二〇名余りでの開催となりました。時間も短縮して午後一時から開会式を行い、佐々木了慎 山陰教区仏教壮年会連盟会長のご挨拶。

議長に出雲南組善徳寺堀江安男様を選出、令和二年度事業・決算報告、監査報告後承認を頂き、令和三年度事業計画・予算案共に承認され、その後研修会に入りました。

講師は佐々木了慎 山陰教区教務所長。

テーマは「御同朋の社会をめざす運動」実践運動)重点プロジェクト(貧困の克服に向けて)について、「フードバンク活動」「子ども食堂」など具体的取り組み事例の紹介。

①総合基本計画(宗門の目標)

基幹運動・門信徒会運動・同朋運動・仏説無量寿経・阿弥陀様の慈悲・念仏者の生き方等々宗門の英知を結集しながら御同朋の社会をめざす運動を推進しようとの教えを頂きました。

②スローガン(結び絆から、広がるご縁へ)

阿弥陀様に救われし私たちであります。自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献したいと思っております。

③重点プロジェクト(貧困の克服に向けて)

子ども食堂は我が町にも有りますが、少数のボランティアの方々です。フードバン

ク活動も幅広く繋げていきたいものです。
 ④経済格差・貧困の克服・戦争と平和
 コロナウイルスが全世界に広がり、なおこの時代に戦争が勃発しています。人はいつの時代でも争いが絶えない、誰もが幸せに暮らせる世の中になつて欲しい。

⑤私たちのちがひ

自分の殻に閉じこもることなく、人と喜び悲しみを分かち合い、日々生かされていることに気づき、日々精進につとめよう。

暮じまい、宗教離れが盛んに言われている。浄土真宗のみ教えをこれからも伝えていくことが、後に続く私たちの使命である、と南無阿弥陀仏を唱えて救われし、そして仏教壮年会を発展させましょう。

山陰教区仏教壮年会連盟
 出雲ブロック研修会に参加して

飯南組 西蔵寺 景山 泰治

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった山陰教区仏教壮年会連盟出雲ブロック研修会が、今年度は令和三年十二月二十五日、雲南市加茂文化ホール「ラメールふれあいホール」で開催されました。

出雲組の担当により、感染症対策が徹底して行われるなかで、松江組、出雲組、神門組、出雲南組、飯南組から二十四ヶ寺より五十九名の参加がありました。

講師に佐々木了慎山陰教区教務所長をお迎えし、「御同朋の社会をめざす運動」実践運動重点プロジェクト「貧困の克服に向けて」について、「フードバンク活動」「子ども食堂」など具体的取り組みの事例紹介をテーマにご講義をいただきました。

研修では、昭和六十一年より「御同朋の社会をめざして」という目標を掲げ平成二十四年四月から名称を「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)と改め、宗門全体の活動として進められている実践運動の総合基本計画について、さらに、「結ぶ絆から、広がるご縁へ」をスローガンに掲げ、取り組んでいる重点プロジェクトのひとつとして「フードバンク活動」「子ども食堂」の取り組み事例について詳しく説明を聞くことができました。

この度の研修会場でも「フードバンク活動」が実施されており、それぞれの参加者から沢山の品物が持ち寄り寄られておりました。

今回の研修に参加し改めて、「自他共に心豊かに生きることでできる社会の実現に貢献する」という基本理念の実現に向けてすべての人が参画し実践していく運動が必要なことだと感じました。

真宗念仏者のひとりとして社会への貢献に向け今後の仏教活動に生かしたいと思っております。

合掌

至福の時！そんな仏教を目指し

鳥取伯耆組 香貫寺仏教壮年会会長

新川 裕二

本会は、四十年ほど前に仏教について学びたいという思いから「仏教研究会」としてスタートしました。そして、三十五年前に「仏教壮年会」と名称を変え、志を同じくする者が集まり、活動を始めました。年齢層は、五十代から七十代。若干一名二十代の若者もいます。また、浄土真宗だけでなく、他宗派や他寺院所属の門徒も幅広く受け入れています。

主な行事
 は、奉仕作業・盆踊り大会・追悼法要、二年に一度の研修旅行など。お寺の行事の「ご院家さんカップ(グランドゴルフ)」大会にも参加します。

そして、何よりも、肝となる活動は、毎月「定例会」です。

この二年間のコロナ禍で行った事業については、多くの方が集まる盆踊り、追悼法要などや、県外に出かける研修旅行は中止にしましたが、次の行事を行っています。



平成30年8月16日 盆踊り時の子ども向け遊びコーナー



令和4年3月定例会

一つ目は、お寺の外回りの「奉仕作業」です。密を伴わず、日頃の感謝の心をもって、まるで「ミニ念仏奉仕団」なみの良い汗をかきひと時でした。そして、終了後の庭での焼肉大会は、格別な交流の場となっています。

次に、「ご院家さんカップ」です。湯梨浜町荳祥のグランドゴルフの大会を通して、各地域の門徒や各教化団体がわきあいあいとも良い雰囲気での交流の場となっています。

そして、何よりも、本会の肝となる毎月の「定例会」は、コロナ禍であっても欠かさず実施しています。本堂にて勤行をし、前住職の問題提起をいただき、参加者の意見交

換を行います。日常のくらしのこと、仕事のこと、いろいろな思いや悩みを語る場となつていて、最後に、お寺からの助言をいただきます。終了後は、庫裏にて、懇親会を行います。アルコールの入った中、さらにつつこんだ本音の語り合いが、夜を徹して行われ、様々な法縁にふれる至福の時です。仏教壮年会の活動を通して、仏社の仲間との絆を深めつつ、大切な仏法を学ぶ場となつていきます。

編集後記

機関紙「SōiSō」第十九号をお届けいたします。各寺院におかれましてもコロナ対策をしながらの活動に苦慮されている事と思います。出雲組仏教壮年会連盟も二月六日に研修会を計画しておりましたが感染が急拡大し、後は開催するだけの段階での中止でしたので講師の先生には大変迷惑をかけてしまいました。東林寺においても二月の初法座は中止となりましたが、三月の彼岸法座は気候も良くなり、本堂も締め切らずに換気をしながらの開催となりました。ワクチン接種も進む中、このウイルスと付き合いながら様子を見ながら今後の活動を行えたらと思っております。

欧州ではいかなる事情が有るにせよ、人が人を殺めるという、あつてはならない事態が生じました。人間とは過ちを繰り返す事、何かを見出そうとする生き物なのではないでしょうか。早い終息を願うばかりです。

最後に発行にあたり寄稿いただきました方々に厚くお礼申しあげ、編集後記といたします。

(出雲組 東林寺 影山敏雄)